

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護論概論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 地域で暮らす人々の生活や行われる看護の特徴を理解し、支援につなげる基礎的な能力を養う。 目標: 1 地域で暮らす人々の生活を理解し、健康との関連が理解できる。 2 地域で行われる看護の概要が理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 地域で暮らす人々の生活と健康	6	1 人々の暮らし 1)暮らしとは 2)生活者としての人間 3)健康の定義 4)健康と生活 2 地域・在宅看護の基盤となるもの 1)地域・在宅看護とは 2)地域・在宅看護の対象(個人・家族・集団・コミュニティ) 3)看護活動の場の広がり 3 地域での看護活動の変遷 4 地域・在宅看護活動に必要な基本理念 1)セルフケア理論 2)プライマリヘルスケア 3)ヘルスプロモーション 4)アドボカシー 5)行動変容 6)家族看護 7)ケアマネジメント	
2 暮らしを基盤とした地域の特徴	18	1 暮らしと地域 ※1 1)地域の定義 2)人々の暮らす地域の多様性とその考え方 2 地域包括ケアシステムと地域共生社会 1)地域包括ケアシステムと社会資源 2)地域での生活を支える組織活動 3)看護の継続性(療養の場の移行に伴う看護) 4)多職種機能と役割・協働・連携 5)看護職の役割	
3 地域・在宅看護に関わる制度とその活用	2	1 地域・在宅看護にかかわる法律と施策 1)介護保険・医療保険制度 2)地域・在宅看護に関わる法制度	
4 在宅看護における看護倫理	3	1 在宅看護の倫理的課題 1)在宅看護における権利保障 2)倫理的課題と自己決定	
	1	試験	
評価方法	筆記試験、レポート、グループワーク、参加状況、態度等		

テキスト	医学書院 地域・在宅看護論(1) 地域・在宅看護の基盤 医学書院 地域・在宅看護論(2) 地域・在宅看護の実践
参考資料	ピラールプレス 看護師のための地域看護学 ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論① 地域療養を支えるケア
履修上の 留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 グループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は提出日時を厳守すること。
備考	※1 はフィールドワークを行う。 単元2 暮らしを基盤とした地域の特徴では、地域環境・地域での暮らしを知り、暮らしと健康のつながりなど暮らしを支える看護の基礎についての理解ができるよう地域包括ケアシステムの構築・推進を念頭にグループ別にフィールドワークを行い、グループ発表で結果を共有する。

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護論援助論Ⅰ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次
<p>目的: 多様な場で提供される看護を理解し、地域での支援を行うための看護技術の知識を養う。</p> <p>目標: 1 地域・在宅看護の提供方法と看護師の役割が理解できる。 2 継続看護の必要性を理解し、様々な職種や関係機関との連携が理解できる。 3 在宅看護における安全管理について理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 在宅看護の提供方法と対象への看護	2	1 広がる看護の対象と提供方法 1)看護の実践方法の広がり(外来、訪問、施設、地域) 2)地域・在宅看護における看護師の役割 2 地域・在宅看護の対象への看護 1)人々のニーズに応える看護 2)地域における家族への看護	
2 地域・在宅看護における継続看護とチームケア	6	1 地域・在宅看護のマネジメント 1)マネジメントとは 2)多様な場におけるマネジメント(療養の場の移行に伴う看護) 2 多職種連携・多職種チームにおける協働 1)多職種チームでかかわる意義 2)多職種チームとの連携・協働の実際 3)看護師の役割	
3 地域・在宅看護における療養環境調整の実際	6	1 地域・在宅看護における療養環境 1)療養環境のアセスメント 2)療養環境調整の実際 2 地域・在宅看護における安全対策 1)暮らしを取り巻くリスク 2)安全確保の方法と対策 3)医療事故の種類と対策 4)災害への対策	
	1	試験	
評価方法	筆記試験、レポート等		
テキスト	医学書院 地域・在宅看護論〔1〕 地域・在宅看護の基盤 医学書院 地域・在宅看護論〔2〕 地域・在宅看護の実践		
参考資料	ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア		
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 提出物は提出日時を厳守すること。		
備考			